

# 志比内コミュニティー・スクール

## CSだより

令和元年10月24日  
志比内小学校  
学校運営協議会発行  
No.2

## 令和元年度 第2回 学校運営協議会 報告

(10月1日 志比内小学校 プレイルームにて)

### 1 学校より説明

- (1) 経過報告
- (2) 学校評価 中間反省と2学期の重点指導項目  
地域の皆さんにお願いしたいこと〈裏面参照〉
- (3) 今後の活動について



◎もちつきについて、今年度は行事時数でカウント

しているが、新年度は未定。これまでのやり方を見直し、昨年度改革してよかった。今年度も同様に（規模縮小）取り組む。年度末に今年度の反省を踏まえて次年度の計画（方向性）を提示する。

- 子どもは学校・家庭・地域の三者の連携で健やかに育っていくもの。重点項目について、了解。
- もちつきが学校でできないとなればPTAか公民館行事として行うか。現在行っている子どもたちの学習発表はどうするか。
- 旭大生も参加させてもらえないか。準備段階からやりたいという要望がある。→計画立案の際検討する。
- 子どもが満足できる行事になるように。子どものためのものである。もちをつくのは子どもが主。
- 一番大事なのは、「主体」。子どものため、子どもと親が主。学校でできないのであれば、PTA、子ども会などと話し合いうまく詰めてほしい。地域はお手伝いという立場で参加・協力を惜しまない。

### 2 その他

- 勉強も大事だが、家庭学習で体験活動も良い。薪割りやくい打ちをしている子はもちのつき方も違う。
- さくらプラザを子どもたちにも開放しているが、使い方についてはそこそよいのではないかと。異学年交流の場で上の子がしきり、下の子に優しく接するなど先輩・後輩の関係、立場の違いを学んでいる。人間形成の場になっている。
- やんちゃだった子が1年生になって落ち着いてきている。乳母車の赤ちゃんに自分の上着を脱いでかけてあげている様子を見て成長を感じた。
- 旧道の記念樹の表示がきれいに直されていた。
- 開校110周年→学芸会に作品や古い写真等を展示する。タイムカプセルの開封については、旧職員・卒業生等に確認する。

# 令和元年度学校評価(中間評価)のまとめと2学期の重点指導項目について

＜教育目標＞ 強く【志を】 正しく【比を】 美しく【内を】



今年度の重点目標 人や地域のおよさに学びながら、見通しを持って自分自身を高めていく子どもの育成

本校では、1学期末に児童と職員が行った「学校評価」や4月に行われました全国学力・学習状況調査等を分析し、課題改善のための具体的な取組を全教職員で検討しました。課題の改善を図るためには子どもたちの課題を共有し、学校、家庭、地域が一体となった取組を進めることが不可欠です。今後ご協力をお願いいたします。

(1学期アンケートの結果から…) ○:成果 △▲:課題をふまえた今後の取組

## 強く: <志を> 心や体を鍛え、粘り強い子どもを目指して

- 目標やめあてをもって学習や活動に取り組むことができている。
- △ 振り返りの時間を大事にして、その学習・活動での学びや自他の成長を実感させる取組、反省を次の活動に活かしていく。

## 正しく: <比を> 正しく判断し、進んで学ぶ子どもを目指して

- 学習内容をよく理解しており、家庭学習にも継続して取り組んでいる。
- △ 授業改善に努める。(児童の様子から、評価テストから、校内研修との関連で) その子なりの努力や成長を認め、励ましていく。
- △ 学力・学習状況調査、学力テスト、チャレンジテストなどについては、間違えた問題のやり直しを実施し、その学年の間にできるようにする。

## 美しく: <内を> 美しいものに感動する、心豊かな子どもを目指して

- 地域の人材・資源を活用し体験的な活動に積極的に取り組み、豊かな心が育ってきている。
- 友達関係の問題について児童・職員・保護者同士で話し合い、解決に向かって取り組むことができた。
- △ 互いのよさやがんばりを認め合う機会をより多く設定する。(自己有用感を高める)
- ▲ 基本的な生活習慣の徹底を図る。(挨拶・言葉遣い・食事のマナーなど)  
→ 子どもたちが「できている」と答えている項目についても、課題が多く見られる。  
全校学活の時間に「志比内っ子の心得」について今後どんなことに気をつけるとよいかを話し合い、取組への意欲を高める。家庭・地域にも協力を仰ぐ。(参観日、学校運営協議会、通信等)

## 2学期の重点指導項目



### ■強く (△学習や活動を振り返り、反省を次の活動に活かしていく。)

- 【学校では】 ◎行事等の後に振り返りの時間を設定し、その活動で自分にどのような力が育ったのか、その力を次の活動にどのようにつなげていくかを考えさせます。学習の振り返りでは、学んだことを確認し自他の成長に気付くように働きかけます。
- 【家庭では】 ◎「ほめる言葉は魔法の言葉」とも言われます。参観日や学校行事等、機会をとらえて来校し、子どもたちのがんばる姿や成長の様子を見とり、ほめてあげていただきたいです。
- 【地域では】 ◎学校行事や参観日などの機会に来校し、子どもたちの様子をのぞいていただきたいです。子どもたちのがんばりや成長を見とり、励ましの声をかけていただければ幸いです。

### ■正しく (△間違いやつまずきを大事にして、進んで学び合い深め合う)

- 【学校では】 ◎苦手な課題や難しい問題にもより積極的に取り組めるように指導し、児童の間違いやつまずきを生かし、授業での話し合いがより深まるように指導を工夫します。  
◎家庭学習(自学)の内容や方法について、児童の様子に合わせて指導します。
- 【家庭では】 ◎家庭学習の時間(低学年: 1・2年生20~30分, 3・4年生40~50分, 5・6年生60~70分)を確保し、机に向かう習慣付けを行ってください。これは、全道で平均的に取り組まれている時間の長さ(めやす)です。読書をしたり新聞を読んだりして、あらすじ・要旨や感想をまとめるなど、読むことと書くことを関連させた学習なども効果的です。
- 【地域では】 ◎地域の自然や歴史・文化などを活用した学習へのご協力、直接体験を通して学ぶ場の提供を引き続きよろしくをお願いいたします。

### ■美しく (▲明るいあいさつ・ていねいな言葉遣い・相手の気持ちを考えた言動・食事のマナー)

- 【学校では】 ◎相手の顔を見て、気持ちのよい元気なあいさつができるように指導します。  
◎相手の立場になって考え、相手の気持ちを考えた言葉の使い方や行動、態度などについて指導します。  
◎給食の時間などに食育・食事のマナーについて継続して指導します。(感謝の気持ちをもつ・正しいはしの持ち方で食べる、食器をきちんと持つ、ひじをつかないなど)
- 【家庭では】 ◎明るいあいさつ・ていねいな言葉遣い・相手の気持ちを考えた言動について、学校での指導と同様に、ご家庭でも指導をお願いします。  
◎朝食・夕食の際にも、食事のマナーについてお子さんと確認し、声かけをお願いします。
- 【地域では】 ◎安全にかかわる見守りをお願いいたします。(朝・夕の散歩、農作業・花壇の手入れの折など)